

# 学力・学習状況調査の結果に基づいた

# 学習指導の改善に向けて～その参～

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果に基づいた、学習指導の改善に向けたポイントを紹介합니다。今号では、小学校・中学校理科における設問を取り上げます。

## 小学校 大問2 粒子を柱とする領域

## 中学校 大問7 粒子を柱とする領域

設問	設問の概要	県	全国
4	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた【問題】を問う。	38.1	39.3

設問	設問の概要	県	全国
1	状態変化に関する知識と日常生活の事象と関連付けられるかどうかをみる。	33.7	35.9

(4) 砂糖水をこおらせた物は、紅茶に入れるとしずみました。

水を入れても、砂糖水をこおらせた物は、しずんだよ。

りかこさん

砂糖水をこおらせた物だから、水にしずんだのかな。砂糖水ではない、ほかの水よう液をこおらせた物でも試してみたいね。

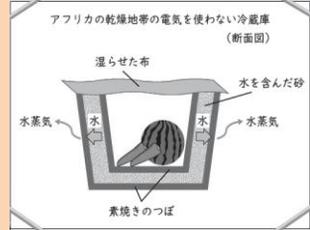
はるとさん

はるとさんは、試してみたいことをもとに、【問題】を見つめました。はるとさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

解答例:ほかの水溶液をこおらせた物は、水にしずむのだろうか。

(1) (アフリカの乾燥地帯の電気を使わない冷蔵庫のイラスト(右図)を見て)

空気が乾燥しているので、染み出した水は、すぐに熱をうばって蒸発するため、全体が冷えます。



(1) 下線部としくみが同じ現象を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア かき氷をすくった金属のスプーンの温度が下がる

イ ラムネ菓子を食べると化学変化で口の中の温度が下がる

ウ アルコールで手を消毒すると、手の温度が下がる

エ 氷に食塩をかけると0℃より温度が下がる

解答:ウ

全国でも岡山県でも正答率が低いことから、自然の事物・現象から気付いたり、問題を見いだしたりすることや、授業で習ったことを日常生活の事象に関連付けて理解することに課題があることが分かります。

どうしたら、日常生活の中から気付きや問題を見いだせるようになるのでしょうか？

授業では、児童に気付いたことを尋ねたり、予想したりする時間が十分とれなかったかもしれません。

「状態変化と熱」について、授業で教えているのに、正答率が低いな…。

状態変化に関する知識と身近な現象を関連付けて探究する学習場面を設定すればよかったかもしれません。

## 授業改善のポイント

## 学習内容と日常(社会)をつなげる!

学習内容をより定着させるためには、**学習内容と日常(社会)をつなげて探究する場面を設定することが大切です。**授業の導入場面で、身の回りの物事や出来事と学習対象とをつなげてめあてを設定したり、振り返りの場面で、学習内容が日常(社会)とどのようにつながっているかを考えさせたりしましょう。

探究することで、学ぶことの意義や有用性の実感を高め、次の探究につなぐことも大切です。

〔例〕中学校国語「スピーチをしよう」

この単元で学んだ、スピーチをするときの大切なポイントを日常生活のどんな場面で生かせそうですか？

- 〈学んだ内容〉
- 場の状況や聞き手の興味・関心、情報量を考慮する。
  - 話す速度や音量、間の取り方に注意する。 など



今度の生徒会選挙の応援演説で生かせそうだな。

新入生対象の学校紹介の時も役に立ちそう!